



みなさん、こんにちは！
「林リエと向日市の未来を創る会」
会長加原ゆりと副会長村田圭介です！



約1年前、林リエが「こどもたちを真ん中にしたまち」をあなたと
創りたい！と選挙で訴え、多くの支持をいただきました。この約束
に真摯に向き合い、議員として今まで取り組んできたこと、学んだ
ことを、林リエから報告していきたいと思っています。

- ① 幼少期からの主権者教育を訴え、「こども議会」の開催を提案（令和5年9月議会）
- ② ボール遊びができる公園整備について一般質問で現状を問う（令和5年9月議会）
- ③ 出産・子育て応援給付金と伴走型相談支援制度について問う（令和5年12月議会）
- ④ 学童保育について
- ⑤ 保育所入所問題について（令和6年3月議会）→（引き続き令和6年6月議会予定）

主に議会の一般質問で提起した内容を上げていますが、これに臨むために、
林リエが議員として視察やヒアリング、調査をしながら取り組んでいるのを
間近で見してきました。「政治に無関心でも無関係な人はいない！」と
いつも言っている林リエですが、彼女の活動を通して色々知ることができ
て、私たちの市政への関心はますます高まっています。
ぜひ多くの方と共有したいです。
今回は④⑤について林リエから以下、ご報告します。
今後もこのレターを続けて読んでいただくと嬉しいです！

林の日々の活動については裏面案内の7/27のタウンミーティングでお話したいと思います！

向日市議会議員
林リエ(45歳)
3人の子の母



4向小の学童を視察して

保護者が仕事で家にいない間、小学生の
放課後の居場所として留守家庭児童会

（学童保育）があります。令和6年3月時
点での学童入会率は30%の922人です。

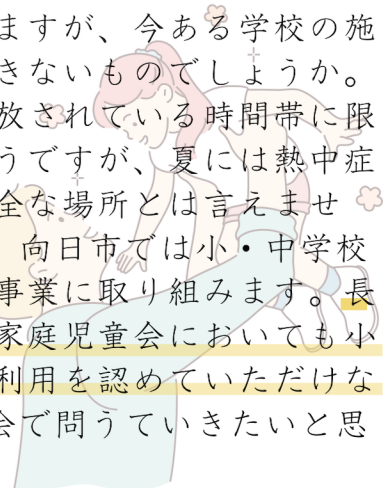
教育委員会から発出された「令和6年
5月以降の向日市留守家庭児童会の入会に
ついて」によると、令和6年4月1日入
会を受付したところ入会児童数の増加によ
りスペースや指導員の確保が難しい状況と
なり、5・6年生の5月1日以降の入会
と夏入会を停止せざるを得なくなったと報
告されています。長期休暇中の長時間のお
留守番を心配される保護者も多数いらっし
ゃると思います。

今年4月に児童数800名の第4向陽小学
校の留守家庭児童会を視察させていただきました。
現在約280人が留守家庭児童会
に登録されています。登録児童全員が

来ることはないにしても、子どもたちが
ゆっくりと過ごせるスペースではないと
感じました。

児童福祉法では「放課後児童健全育成
事業の設備及び運営に関する基準の第9
条設備の基準の項目で児童一人につきお
おむね1.65㎡専用区画が必要」と明記
されています。(1.65㎡は約畳1枚分)

留守家庭児童会は管轄が異なるという
理由で学校の施設を利用することができ
ないと聞いていますが、今ある学校の施
設を有効活用できないものでしょうか。
運動場は地域開放されている時間帯に限
り利用できるようですが、夏には熱中症
の心配があり安全な場所とは言えませ
ん。令和6年度、向日市では小・中学校
体育館空調整備事業に取り組みます。長
期休暇中に留守家庭児童会においても小
学校の体育館の利用を認めていただけな
いか、6月の議会で問うていきたいと思
います。



保育所待機児童問題について 保育士宿舎借り上げ支援の導入を

令和2年度に作成された「向日市小中学校個別計画」によると、生徒児童数は20年後には現在の約75%、30年後には約70%、40年後には約64%の2800人程度まで減少するとのことです。しかし現在の市内の人口は増加傾向にあり、学童登録児童数が増えているのと同様に、一部地域では就学前の子どもを持つ若い世代が多く、保育所に入所できなくて困っているとの声を聞きます。今後の少子化を考えると、保育所を増やせばいいというわけではないにしろ、困っている子育て世代の市民に対して何ができるのでしょうか。

■向日市によると、市の保育所待機児童は「ゼロ」ということですが、保育所入所を希望しつつも様々な理由により保育所入所を断念された幼児が約50人おられます。例えば、1次募集で自宅近くの保育所や兄妹の入所している保育所に申請をしたが叶わず、2次の申請へ。しかし入所が許可された保育所が遠路すぎて毎日の送迎や通勤に支障が生じると判断されて入所を辞退されたり、仕方なく別の保育サービスを利用したりした場合には、保護者の都合で入所を辞退されたとして向日市の「待機児童」としてカウントしないようです。

関連した課題として、入所申込の2次申請の場合は、結果判明時期が3月です。年度末ギリギリでは4月からの生活の予定が立てづらいとの声もあります。せめて申込期間を前倒しして、年内には結果が判るようにできないものか、令和6年3月議会で質問をしましたが、現状で変更は難しいとのことでした。

■待機児童問題の解決の一つとして保育士の確保が挙げられます。定員割れをしている保育所もあるようなので、保育士の数が増えれば受け入れ態勢が整い、入所の可能性が広がるのではないのでしょうか。向日市には保育士奨学金返還支援制度があります。保育士資格取得のために奨学金の貸与を受けた保育士が向日市内の民間保育所に就職された場合に、年額24万円を2年間にわたり奨学金返還補助として支給する制度です。

他市では「保育士宿舎借り上げ支援」が導入されており、これは保育士の家賃補助を国や市が支援する制度です。補助の上限は月額82,000円です。ヒアリングを行った私立保育園でもこの制度の導入を強く希望する声がありました。この制度は保育士の確保にたいへん有効なものだと考えます。安心して保育所を利用しながら子育てできる環境を整えていくために6月の議会にて導入を提案します。



林リエと話そう!

地域で子育てタウンミーティング

7月27日(土)10:30~12:00

向日市観光交流センター
まちてらすMUKO
2階 交流スペース

申込み不要・参加無料 ぜひお越しください!

あなたの質問はココから受け付けています!



子育てしやすいまちとは？
子育て制度のアレコレ
語り合おう!

林リエと向日市の未来を創る会

〒617-0002

向日市寺戸町七ノ坪141番地SU・BA・CO 4F-d

muko.miraiwotukuru@gmail.com



ホームページ



Instagram



公式LINE